

－保管中農産物補償共済が新設されました－

令和2年9月1日から倉庫等に保管中や出荷のために運送中の農産物を補償する『保管中農産物補償共済』が新設されました。

・ 現行の収容農産物補償特約との比較表)

| | 新 設 | 現 行 |
|----------------|---|--|
| | 保管中農産物補償共済 | 収容農産物補償特約の概要 |
| 補償対象 | 農作物共済、果樹共済、畑作物共済の共済目的であって加入者が選択した農産物 | 米穀、麦、大豆 |
| 補償範囲 | 収穫後、倉庫等・集荷施設又は出荷先への輸送中の農産物及び倉庫等に保管中の農産物。 ※保険状況が良好でない野積み等は除外 | 納屋・倉庫等（総合共済加入物件）に保管中（出荷前の一時保管、販売目的の保管、乾燥・調製等の作業中）の農産物。 ※保険状況が良好でない野積み等は除外 |
| 共済事故 | 火災、風水災、地震等の建物総合共済の共済事故に加え、盗難、輸送中の事故（火災又は破裂・爆発、衝突、墜落、転覆、ただし荷崩れは除く） | 火災、風水災、地震等 （建物総合共済の共済事故） |
| 補償期間 | Aタイプ：一時保管向け 120日（加入者が連続する期間を選択。期間を分割することはできない） Bタイプ：通年保管向け | Aタイプ：一時保管向け 通算120日以内（加入者が期間を選択。期間を分割することが可能） Bタイプ：通年保管向け |
| 補償額 | 実損害額 （地震等事故は、実損害額の30%） 支払限度額あり （1品目1口当たり100万円） | 実損害額 支払限度額あり （1口当たり1建物・1品目100万円） |
| 掛金等 （事務費含む） | 1品目1口当たり Aタイプ：2,500円 （共済掛金1,750円＋事務費750円） Bタイプ：6,500円 （共済掛金4,550円＋事務費1,950円） | 1建物1品目1口当たり Aタイプ：1,000円 Bタイプ：3,000円 |
| 保有責任 | 全国連合会への全額再保険 （JA共済連への再共済は行わない） Aタイプ：1品目1口1,862円 （再保険料1,750円＋事務費112円） Bタイプ：1品目1口4,842円 （共済掛金4,550円＋事務費292円） | 全国連合会及びJA共済連への一部再保険 （再共済） |
| その他 | 現行の収容農産物補償特約は一定条件下で継続するが、重複加入はできない | |